

令和5年度 研究活動報告書

地区名	西村山	市町村	寒河江市・河北町・西川町 大江町・朝日町
1 研究テーマ 学校経営への参画を目指した連携・協働 ～子どもの学びと育ちを支援する学校事務～			
2 全体研修			
月 日	会 場	活 動 内 容	
6/16 (金)	村山総合支庁 西村山地域振興局	春の半日研修会 ・ 報告 県協議会報告 ・ コミュニティスクール地域学校協働活動出前講座 ・ 研究部の研修計画	
11/2 (木)	村山総合支庁 西村山地域振興局	秋の半日研修会 ・ 報告 県協議会報告 ・ 教育事務所より実務研修 ・ 中央研修報告 ・ 各研究部研修	
3 研究部研修 各研究部 年3回 別紙一覧表の通り			
4 成果と課題 部員数は31名で、研修体制は全体研修と研究部研修の2本立てである。			
○ 全体研修では、春は教育事務所よりコミュニティスクールの出前講座をお願いし、地域学校協働活動について理解を深めるよい研修を行うことができた。秋には会員から質問・要望を取り、村山教育事務所総務課の方から応答やご指導をしていただいた。また、中央研修報告についても内容を地区全体で共通理解でき大変よかった。			
○ 研究部研修は3年計画の初年度ではあるが、研究班の構成は昨年度までと同様とし、改めて班の希望をとり、新メンバーで研究に取り組んだ。			
○ 会員の研修に対する意欲・意識が高く、新採者等からベテラン層まで、それぞれのニーズに合った企画の維持が課題である。また、新採者や経験年数の少ない者等に対する研修体制をどうするか、県全体で取り組む「共同実施」をどのようにすすめていくかが近々の課題となっている。			

R5年度 研究部別研修日程一覧

◎ 部長

学校事務部会

研究部・研究テーマ	部員名 順不同・敬称略				春の半日研	第1回	第2回	秋の半日研	第3回
教育財政部 財務からの学校経営への参画 ～連携を通し、時代の変化に対応する学校事務を目指して～	◎武田 由香	岩淵 満里子	安孫子理恵子	月日	6/16(金)14:00	9/1(金)14:00	10/5(木)14:00	11/2(木)14:00	1/16(火)14:00
	斎藤 亜樹	服部 浩子		場所	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局
	縄 玲奈	佐藤 夏奈		内容	今年度の事業計画	教育課程と事務職員の関わり	学校集金・ネットバンク等について	秋の半日研	保護者の負担軽減を考える
	亀谷 里沙子	須藤 純子							
事務開発部 効率的な学校事務をめざして ～連携・協働を推進し、次の世代へつなげよう～	◎菖蒲 良子	鈴木 紀和子		月日	6/16(金)14:00	7/18(火)14:00	9/20(水)14:00	11/2(木)14:00	12/12(火)14:00
	柴田 真美	大泉 民子		場所	西村山地域振興局	高松小	高松小	西村山地域振興局	高松小
	今野 響	槇 江吏子		内容	今年度の事業計画	事由別提出書類一覧作成など	事由別提出書類一覧作成など	秋の半日研	初任者向け資料確認・更新など
	佐藤 伶哉	奥山 あゆみ							
法令情報部 さまざまな法改正に伴い、制度理解を深めよう ～子どもの教育支援に関わりながら～	◎今田 哲	安達 千穂		月日	6/16(金)14:00	7/19(水)14:00	9/22(金)14:00	11/2(木)14:00	1/16(火)14:00
	櫻田 由子	安食 由美子		場所	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局
	堀江 美桜	熊坂 綾子		内容	今年度の事業計画	事例研修	事例研修	秋の半日研	事例研修
	齋藤 舞耶								
データ収集部 情報を収集し使いやすく整理してみよう ～学校事務の標準化・効率化を図るために～	◎今井 香織	外塚 泰智		月日	6/16(金)14:00	7/26(水)	10/12(木)	11/2(木)14:00	12/19(火)
	森谷 泰子	鈴木 凜子		場所	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局	西村山地域振興局
	武田 葵	新宮 利浩		内容	今年度の事業計画	データ収集と整理	データ収集と整理	秋の半日研	データ収集と整理
	高橋 花奈								

令和5年度 データ収集部 研修報告

1. テーマ

「情報を収集し使いやすく整理してみよう」

～学校事務の標準化・効率化を図るために～

2. 研修内容

① これまでの実務マニュアルの修正

実務マニュアル内容の検討

改正になった部分の削除 事例をもとにした参考実務資料の作成

教育事務所総務課研修会資料の追加等

② 持ち寄り事例研修、情報交換

多学年手当・期末勤勉手当・寒冷地手当

産休・育休(男性職員の育休)

③ 情報の整理

他グループの研修内容をまとめ、情報を整理し配信

3. まとめ

これまでの実務マニュアルを引継ぎ、修正して発行することとした。

今後も「実務マニュアル」がより使いやすいマニュアルとなるよう研修していきたい。日々新しくなる情報を整理し、実際の実務で困った時に手に取って役立つ情報を配信していきたい。

今年度は男性職員の育児休業について事例をもとに研修した。

今後取得する職員にアドバイスできるよう情報を整理し理解を深めていきたい。制度が始まったばかりなので今年度は法令等をまとめたフォルダを配信した。

また、他グループの研修内容についても全会員が情報を共有し、事務の標準化・効率化となるようにまとめ配信した。

令和5年度 教育財政部研修報告

1. 研修テーマ

財務からの学校経営への参画

～連携を通し、時代の変化に対応する学校事務を目指して～

2. 研修内容

6/16 (金) 春の半日研 年間計画作成

9/1 (金) 研修テーマ「教育課程と事務職員の関わり」

・学校改善ワークシートを作成し、勤務校の課題解決のためのアプローチを考え意見交換を行った。外部資源導入表を使用して、行事や学習活動と事務職員の関わりについて話し合った。

10/5 (木) 研修テーマ「学校集金・ネットバンク等について」

・西村山郡各校に集金、物品購入、ネットバンクの利用状況についてのアンケートを依頼。日々の業務についての疑問や改善したい点などの意見も集まり、教育財政部としての解決策を出しアンケート結果の報告を行った。

11/2 (木) 秋の半日研 情報交換

1/16 (火) 研修テーマ「保護者の負担軽減を考える」

・校内予算の執行状況や集金についての資料、行事決算書等を持ち寄った。資料を確認しながら公費で支出できるものはないかを考え、お互いにアドバイスを行った。私費の減額についてもそれぞれの考えや取組みを出し合い研修した。

3. まとめ

今年度は部員を3つのグループに分け、グループごとに研修課題を設定し当日の進行や研修準備なども行った。ベテラン・若手それぞれの経験を元に提案された課題は多岐にわたり、日々の実務においてすぐに取り入れる事が出来るものが多かった。実際に今年度の研修がきっかけとなり、集金回数の変更を試みた部員もいた。職場での悩みや教えて欲しい事など声を出しやすい雰囲気を作ることができた。ワークシート作成や校内予算の見直しも大変勉強になったという声が多かった。

今後も時代の変化に対応できる事務職員を目指して、お互いの意見を大切にしながら充実した研修を続けていきたい。

令和5年度 事務開発部研修報告

1 研修テーマ

「効率的な学校事務をめざして」

～連携・協働を推進し、次の世代へつなげよう～

2 研修内容

(1) 新規採用者等に向けた既存の資料の見直しと更新

- 月別事務スケジュール
- 新規採用者向けQ&A
- 学校事務の仕事



配信済資料のとおり

(2) 事由別提出書類一覧の検討

「採用・扶養手当・結婚・住所変更」における一覧表の素案

(3) 持ち寄りの事例研修、情報交換

- ・子ども看護休暇と家族看護休暇
- ・臨時的任用職員の年休の計算例
- ・多学年手当について
- ・扶養親族申請・取消し関係（介護老人施設へ入所した場合）
- ・育児休業、退職後の復職調整

3 研修のまとめ

新規採用者等に向けた既存の資料は、初任者のみならず、経験者にとっても便利な資料と考え、引き続き見直しや更新作業をした。班員を半分にすることで内容をじっくりと検討した。

更新した資料は、全会員へ配信し、活用していただきたいと考えている。

また、地区内に新任者が赴任したときは、共同実施会議や市町の部会長さんから声がけしていただければありがたい。

さらに、「事由別にどの書類が必要かわかりにくい。提出書類を提出先ごとに一覧表があると便利だ」という班員の意見から、最上の資料を参考に作成することにした。

こちらは、来年度以降の完成を予定しているが、教育事務所や共済組合への問い合わせも減るのではないかと期待している。

令和5年度

法令情報部研修報告

1 研修テーマ

さまざまな法改正に伴い、制度理解を深めよう

～子どもの教育支援に関わりながら～

2 研修日と主な研修内容

6月16日（金）春の半日研修 年間事業計画

7月19日（水）研修内容検討 事例研修

9月22日（金）男性育児休業についての研修

11月 2日（木）秋の半日研修 男性育児休業についての研修

1月16日（火）男性育児休業についての研修 今年度の研修まとめ

3 育児・介護休業法改正のポイント

- （1）雇用環境整備、個別の周知・意向確認の措置の義務化（R4. 4. 1～）
- （2）有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和（R4. 4. 1～）
- （3）産後パパ育休（出生時育児休業）の創設（R4. 10. 1～）
- （4）育児休業の分割取得（R4. 10. 1～）
- （5）育児休業取得状況の公表の義務化（R5. 4. 1～）

4 まとめ

育児休業制度が改正され、男性職員に給与面や休暇関係、さらに共済組合関係など多方面で改善されている。それに伴い、法令情報部では制度を理解し、学校で働く男性職員に広く周知しようと考え、班別研修をすすめるよう計画した。

どのように資料を作成していくか悩んでいたところ、教育事務所より「育児休業取得時の収入シミュレーションシート」をいただいた。取得する月数を何パターンか想定して、そのシートに入力して収入額を把握することで、取得をためらう理由に上げられている不安が解消されるように思う。一方、共済組合の掛金についても免除になる制度や休業に伴う給付金など、様々な制度について、今回研修できたことは貴重な財産になると思う。これから、法律が改正され、ますます休業が取得しやすくなることもふまえ、まずは現在の制度を班員が理解し、男性職員に相談されたときに、より制度を利用しやすくなるようアドバイスできるように、事務職員として研修を深めていきたい。